



# 城北民児協だより

2023(令和5)年  
11月号  
城北学区民生委員  
児童委員協議会

## 民生委員・児童委員になって1年を経て

城北民生委員・児童委員協議会 会長 関 弘 一

「地球温暖化から地球沸騰化」とグテーレス国連事務総長がショッキングな発言をされたように、今年の夏は熱波による山火事や洪水、干ばつ、台風など気候が過激化し、全世界に大きな被害をもたらしました。幸いにも彦根市は大きな災害はありませんでしたが、真夏の猛暑で大変だったとお察し致します。今後、地球沸騰化による異常気象はますます増加することが予想されます。何とか未来の子ども達のために人類の英知で克服して欲しいと思います。

さて、民生委員・児童委員は去年12月の改選後、約1年になろうとしています。民生委員・児童委員の活動は多岐にわたっており、今回は新任者が多くまだまだいき届いた活動はできていませんが、少しずつ皆さんとのつながりを増やしていきたいと考えております。

彦根市の老年人口(65歳以上)の推移は2015年26,605人(23.4%)から2030年30,072人(26.3%)になると予想され、15年で3,467人増加します(国立社会保障・人口問題研究所2018年の推計)。団塊世代が後期高齢者となりひとり暮らしの高齢者も増加することから、孤立を防ぎ地域社会とのつながりを大切にし、注意深く見守っていききたいと思います。

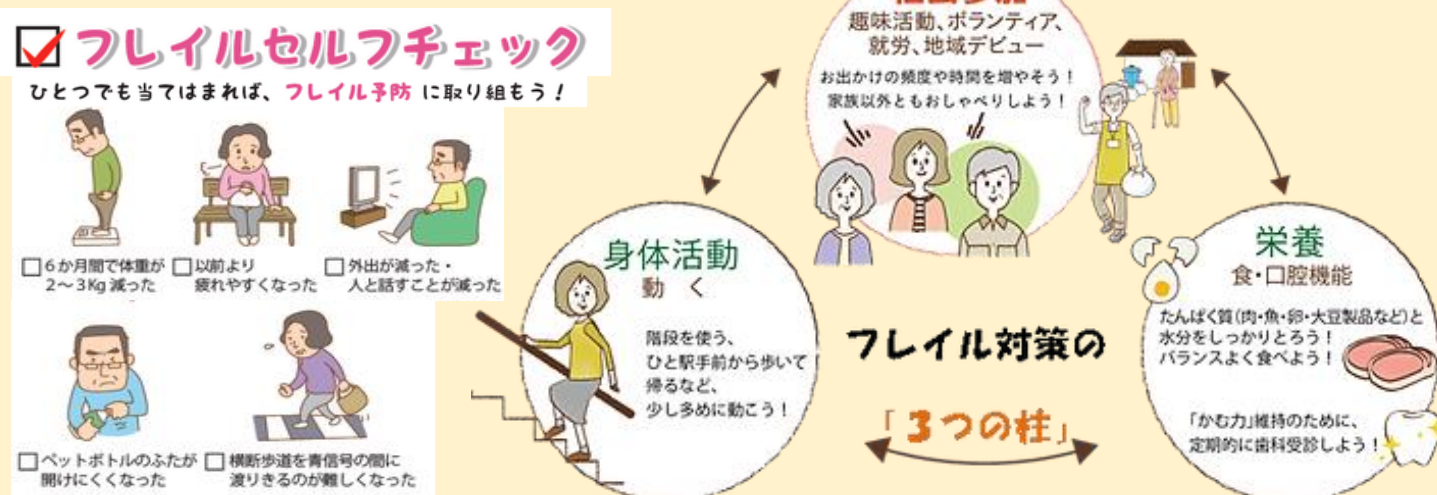
また、高齢者に限らず、障がい者や子どもなどすべての人に目配りをしていきますので、どんな小さな困り事も各地域の民生委員・児童委員及び主任児童委員に遠慮なくご相談ください(相談に関する秘密は守られます)。



## 元気に年齢を重ねましょう ~フレイル予防を~

最近『フレイル』という言葉をよく耳にしませんか? 年齢を重ねていくと、病気ではありませんが、心や身体のはたらき、社会とのつながりが弱くなっていく状態のことを『フレイル』と呼んでいます。

年のせいとあきらめていた心や身体の衰えは、予防できます。やりたいことや好きなことを続けていくために、今できることから始めていきましょう。「社会とのつながり」を失うことが、フレイルの最初の入口です! 積極的に「社会参加」に取り組みましょう。



# こんな活動をしています



私達は、昨年12月の改選より、「皆さんに寄り添い」、「皆さんの悩みや不安に向き合い」、「皆さんの相談に応じる」、そして「皆さんを福祉サービスにつなげる」ことを大切に活動してきました。

これからもさまざまな活動を通して、「把握する」こと、「つなぐ」こと、「見守る」ことに努めます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## キャッスルママパパのつどい

子ども達の学びや遊びを通して、心を豊かに育む場になれば



と年間6回開催しています。子育ての悩みや気づきをお家の方々と共有し、新たな気づきを発見できればと、「離乳食講座」や「水遊び」で交流してきました。今後も「ソフトクリーム作り体験」「はじめての英語」などを開催します。



## 新入学お祝い訪問

5月に今年度入学された36名の子ども達への入学プレゼントを持って、城北小学校を訪問しました。子ども達のステキな笑顔に会い、たくさんの元気をいただきました。



私達は子ども達の健やかな成長と、保護者の皆さんが安心して子育てができることを願っています。そして誰もが暮らしやすい地域づくりのお手伝いをさせていただきます。

## 高齢者のお宅訪問

お一人暮らしの高齢者のお家を、「お変わりございませんか」と定期的に訪問しています。昨年12月には、西中学校の生徒さんの、自作の「クリスマスカード」や「New Year カード」を持っての訪問にもご一緒させていただきました。みんなの笑顔が広がり、中学生さんにも高齢者の方にも、とてもいい時間となりました。



## みんなでラジオ体操を楽しもう

～ 中学校の生徒たちと広げる地域の輪 ～

「中学生の地域貢献に向けての意見交換会」で、中学生の皆さんから提案された「みんなでラジオ体操を楽しもう」に参加しました。多くの地域の方々と一緒に、ラジオ体操をリードする中学生の姿を目にして、地域の明るい未来を確信しました。中学校の生徒さんを温かく見守りたいものです。



## 地域の見守り活動

地域のつながりのため、自治会と協力しながら、見守り会議、見守り活動を推進しています。また、災害弱者の方の情報を共有し万が一の災害時に支援が必要な方を確認して、住みよい街づくりに努めています。



「馬場一丁目見守りサロン」より